

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容①】 学校と家庭をつなぐコネクト学習の学びを活かした授業づくり

1人1台端末（持ち帰り端末）を効果的に活用したコネクト学習により学校と家庭をつなぎ、確実に学んだことを定着させ、児童生徒が主体的・協働的に学び合うことができる授業

コネクト学習の概要

	スタンダード	復習型	学習の個性化	活用型
	「問いをつかむ」から「振り返る」まで、全段階を通す標準的な授業スタイル。	学校でスタンダードの授業の流れを行い、家庭で自分の力に合わせた「確かめる」学習を充実させる。	家庭で考えをもたせることで導入の時間を短縮し、協働作業・協働解決・確かめる時間を確保する。	単元全体を通して、本時での振り返りを主としながら、各自でテーマを設定し、家庭で情報収集や整理分析、まとめを行い、単元末に全体で共有する。
家庭			自分の考えをもつ	
学校（単位時間）	問いをつかむ	問いをつかむ	問いを解決する	学校 ・本時の振り返り ・単元を通しての学び ⇒ 新たな疑問、興味関心等 課題設定 情報収集 整理分析 家庭 ・本時の学びを通して、各自でテーマを設定し、まとめる。 ⇒ 他者参照・他者共有により、テーマや内容を深め上げる。
	考えをもつ	考えをもつ	まとめる	
	問いを解決する	問いを解決する	確かめる	
	まとめる	まとめる	振り返る	
	確かめる	確かめる	問いをつかむ	学びをつなぎ、広げ、深める（学習の個性化）
家庭			確かめる、習熟する	まとめた内容の共有・一般化

主体的な学びや確かめの充実

指導の個別化
協働的な学びや習熟・発展の時間の充実

興味関心、自己表現・学習の深化の充実

鑑賞「ブルタバ」スメタナ作曲（中学3年）

【問いをつかむ段階】

各自に割り当てられた課題を家庭で情報収集し、スライドにまとめてくる。
（コネクト学習予習型）

課題A：作曲当時のチェコを取り巻く社会情勢
課題B：「わが祖国」に込めた思い

学びの充実

【考えをもつ・問いを解決する段階】



家庭で調べまとめたスライドを活用することで、個別に行う聴き取り活動も充実していた。まとめた意見を共有シートで全体共有し、意見交換したことで、深まりのある学習になった。



※まとめてきたスライド

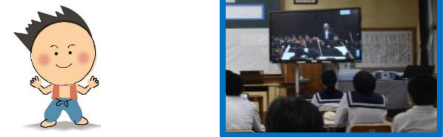
～「わが祖国」に込めた思い～
 チェコ語で「ウルタヴァ」 ドイツ語で「モルダウ」
 スメタナが交響曲「我が祖国」の作曲を始めた1874年
 ⇒当時のチェコは、オーストリア帝国の支配下
 ×チェコ語で曲名を付ける×

水の流れを表すだけじゃない!? スメタナのチェコへの愛!!
 この曲は短調で始まっている
 2つの水車の「川」が合流して「河」になる
 ⇒長調で華やかなメロディー
 これは、チェコ民族の独立と断崖を表していると言われている。

今は涙の降るような辛い状況にあっても、いつかは必ず晴れて明るい未来がやってくる。という長調のメロディーをスメタナが「モルダウ」に込めた。この作品は、他国に支配されているチェコの人々に明るい未来を祈り、その思いを託した曲でできない川の流れで表現されている。

【まとめる・確かめる・振り返る段階】

先生の話聞き、全体でオーケストラ演奏のライブ感を味わわせることで、より深い理解と感動につながった。

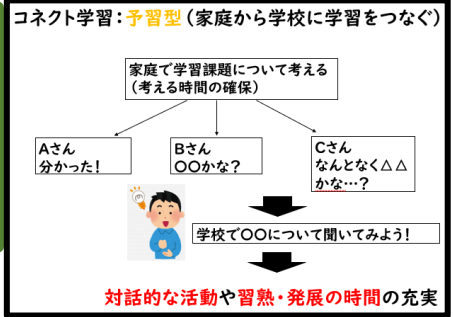


	(1) 「ブルタバ」の主題の変化	(2) スメタナはどのような思いを込めたのか
1	前半：すこし遅い！リズム感があまりない！少し暗いイメージ 後半：前半よりも明るく、テンポが速い！リズムカル！豪華な感じ	曲の中で、前半の部分は、昔（作曲当時）のチェコの雰囲気やチェコの不自由さを表されていて、後半の部分は、チェコの最近の様子をスメタナはイメージして作ったと考えます。スメタナは、「現在のチェコ国民が幸せで、みんな平等な未来になってほしい」という思いを込めたかったのだと読み取りました。
2	前半と後半を比較すると、後半のほうがテンポが速く明るいイメージがあるため、後半に流れるにつれて長調になっていると考えました。	前半は短調で、後半よりも楽器が少ない気がした。強弱が激しい。後半は長調で楽器がたくさん使われている気がした。
3		苦しい状況でも必ず明るい未来はあるという気持ち。

※共有シートの一部

コネクト学習のねらい

- 【1人1台端末（持ち帰り端末）の効果的活用】
- ① 学びに連続性をもたせる
 - ② 時間を効率的に使う
 - ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる

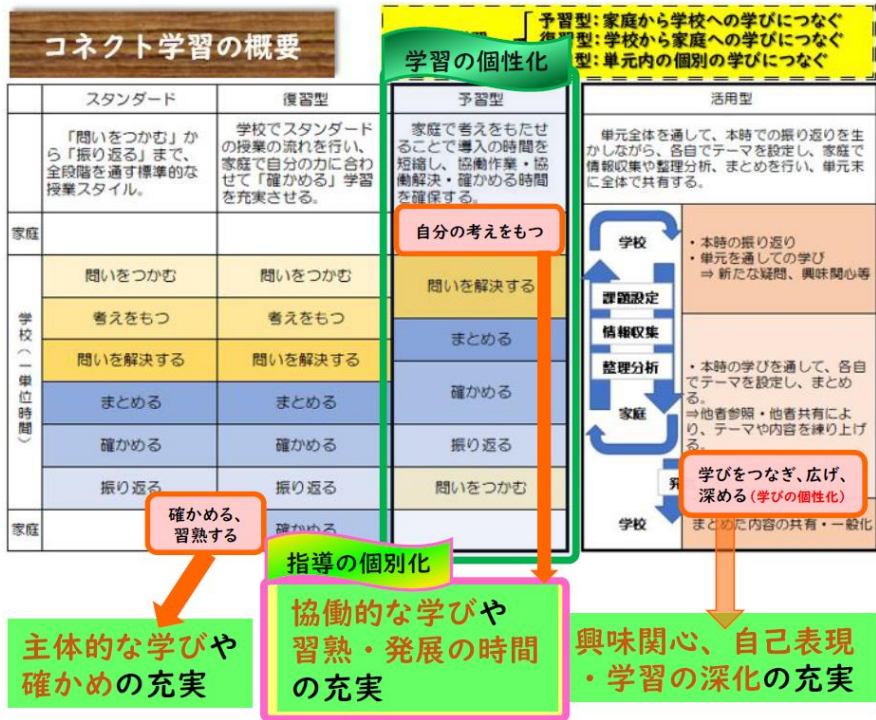


リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容①】 学校と家庭をつなぐコネクト学習の学びを活かした授業づくり

1人1台端末（持ち帰り端末）を効果的に活用したコネクト学習により学校と家庭をつなぎ、確実に学んだことを定着させ、児童生徒が主体的・協働的に学び合うことができる授業



連立方程式（中学2年）

【問いをつかむ段階】

いろいろな連立方程式の解き方を、3種類の問題の中から1題を選択させ、予習として取り組ませた。（コネクト学習予習型）

係数に小数がある連立方程式の解き方
次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} 0.3x + 0.4y = 0.5 & \text{①} \\ x - 2y = -5 & \text{②} \end{cases}$$
 わかりやすくするために、まず連立方程式を、10倍する。

$$\begin{cases} 3x + 4y = 5 & \text{①'} \\ 10x - 20y = -50 & \text{②'} \end{cases}$$
 ①'×5より

$$\begin{cases} 15x + 20y = 25 \\ 10x - 20y = -50 \end{cases}$$

$$25x = -25$$

$$x = -1$$

$$x = -1$$
を②'に代入して、

$$-1 - 2y = -5$$

$$-2y = -4$$

$$y = 2$$

$$(x, y) = (-1, 2)$$
 ※家庭学習での課題

学びの充実

【考えをもつ・問いを解決する段階】



ジグソー法を用いて、同じ問題を解いた生徒同士で、答えや解き方の確認をさせた。お互いの解き方を確認しながら、どの解き方が分かりやすいか、どのような説明が相手に理解してもらえるかを意識させた。

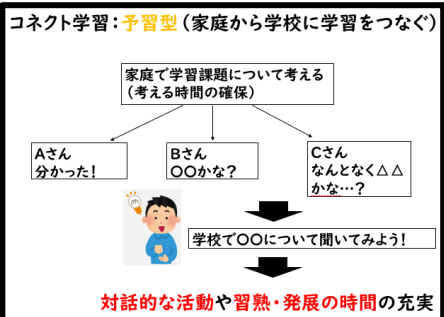
【まとめる・確かめる・振り返る段階】

3つのコース（海コース：自分で黙々と、陸コース：友だちと協力しながら、山コース：先生と一緒に）に分けて、練習問題に取り組みました。苦手な生徒も友だちと話し合いながら問題を解こうと励む姿が見られた。

コネクト学習のねらい

【1人1台端末（持ち帰り端末）の効果的活用】

- ① 学びに**連続性**をもたせる
- ② 時間を**効率的**に使う
- ③ 主体性を高め、**確実な学び**につなげる



リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによるコネクト学習の充実

端末の日常的な持ち帰りの中で、授業とつなぐ家庭学習の在り方を工夫

コネクト学習
予習型

コネクト学習：予習型（家庭から学校に学習をつなぐ）

家庭で学習課題について考える
（考える時間の確保）

Aさん
分かった！

Bさん
〇〇かな？

Cさん
なんとなく△△
かな…？



学校で〇〇について聞いてみよう！

対話的な活動や習熟・発展の時間の充実

家庭学習の充実



既習した知識を使って、自分なりに解を導き出し、教師に提出する。



学びの充実

問いをつかみ、考えをもつ

A問題 氏名()

問題: y は x の一次関数で、そのグラフが点 $(3, -2)$ を通り、傾き -2 の直線であるとき、この一次関数の式を求めなさい。

$y = -2x + b$

$-2 = -6 + b$ A $y = -2x + 4$

$-6 + b = -2$

$b = -2 + 6$

$b = 4$

★この問題を解くポイントは？
代りしてから解くこと

問いを解決する



まとめ、確かめ、振り返る



自分で考えたことを他者に説明し、協働的な学びの中で相互補完し、学びの充実を図っている。

C問題 氏名()

問題: 次の一次関数のグラフをかきなさい。

(1) 傾きが1で、切片が3の一次関数のグラフ ……赤

(2) 傾きが2で、点 $(-3, -4)$ を通る一次関数のグラフ ……青

(3) 2点 $(1, 2)$ 、 $(5, -6)$ を通る一次関数のグラフ ……黄

(2)勘違いしているところに矢印付けるかな～？

★この問題を解くポイントは？
2つの点をとって解く。



一次関数の定義	鉛筆で書いてみました。
変化の割合（一次関数）	aの部分を見初めに問題を見て解きたいなと思いました。
変化の割合（比例、反比例）	反比例の変化の割合を、しっかりと求められるようにしたいなと思いました。
一次関数のグラフ	切片と傾きをすぐに求める方法を身に付けることができました。
一次関数のグラフ	2点取るのはいいが、ずれることがあるから、提出前にずれていないかの確認を心掛けています。

家庭学習への転換

コネクト予習型では、「考えをもつ」段階を家庭学習で行うことで、導入の時間を短縮し、協働作業や協働解決・確かめる時間を確保することにつながっている。

生徒の変容

自分の意見をしっかりと述べるができるようになってきた。また、「できた、分かった」の実感できる場面が増え、充足感を得ている。



協働的な学び・習熟の時間の確保につなげる

リーディングDXスクール事業【実践事例】

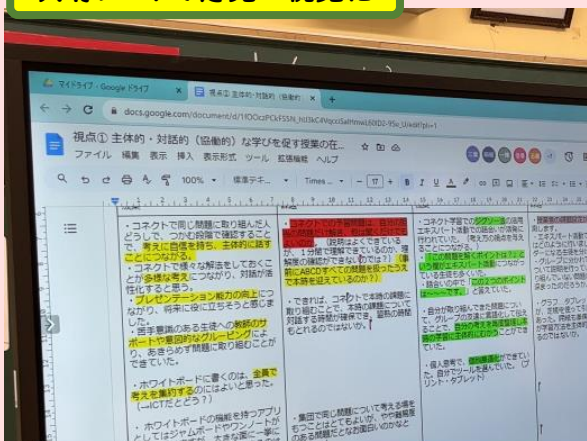
西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容④】 協働的な学び合いにするための校内研修・小中合同研修の在り方

Google WorkspaceやMicrosoft Teamsを活用した効果的な研修の工夫

小中合同授業研究会の工夫と実践

共有シートで意見の視覚化



西米良村小中合同主題研究会

「授業改善」をねらいとした実践的研究スタイル

西米良村小中合同主題研究会は、村内小・中学校の職員が一堂に会し、教育実践を通して児童生徒の教育的な課題の解決を図っています。

ポイント①

視点① 主体的・対話的（協働的）な学びを促す授業の在り方

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・コネクで同じ問題に取り組んだ人どうして、つかわれ強弱で確認すること、考えに自信を持ち、主体的に話すことにつながる。 ・コネクで様々な解法をしておくことが多様な考えにつながる、対話が活性化されると思う。 ・プレゼンテーション能力の向上につながる、前案に立ち上りそうと感じました。 ・若手教員のある生徒への教師のサポートや協働的なグループワークが、あらかじめ問題に取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・コネクでの予言問題、自分の考えを積極的に発表、他の聞くだけではない、（説明はよくできているが、1分間で理解できているのか、理解度の確認ができないのでは？）事前にABCDすべての問題を扱ったうえで本時を返しているのか？→すべて既習内容です。本単元のところが扱ったことのある課題です。Jamboardで他の問題を見ることのできるようになっていますが、すべての問題を完全に押さえる事はしていない。

データを共有・編集しながら、協議を行っている。

Teams内のデータは同時編集ができるため、作業の効率化を図ることができ、視覚的に共有することが可能なため、効率的効果的な協議が行えている。

小中合同授業研究会

毎年、小・中学校で1本ずつ、研究主題に沿った研究授業を行っている。その後、協議会を設けることで、授業改善に役立っている。クラウドの活用により、意見の共有や保存を容易に行っている。



ポイント②



市内の教職員でデータを共有している。

小中合同での模擬授業

小・中学校合同で模擬授業を行い、異なる学校種の先生方と協議をしながら、様々な視点で授業力の向上、より良い授業改善に役立てた。協議の祭にクラウドを活用することで、意見の集約や共有が容易になり、深まりのある会となった。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容④】 協働的な学び合いにするための校内研修・小中合同研修の在り方

Google WorkspaceやMicrosoft Teamsを活用した効果的な研修の工夫

校内研修の工夫と実践

ポイント③

ポイント④

クラウド上でデータの共有

1年層、お忙しい中、研究へのご協力ありがとうございました。1年層を振り返って、成果・課題として挙げられることをいくつか振り返りください。個人として、どちらでも構いません。先生方の意見を集約して、2月の小中合同研修・報告にて報告書をする予定です。お忙しい中ですが、ご協力よろしくお願いします。

1年層を振り返って
Google フォーム

クラスコメントを返信...

2023/10/17
働き方改革の実現・教育活動の高度化に向けた次世代教員のエッセイ

お時間のある時に、興味をもたれた動画を視聴してください。

働き方改革の実現・教育活...
YouTube 動画・13分 46分

文部科学省/mextchannel...
https://www.youtube.com/user/n...

共有スペースの中で情報交換をしている。参考になった動画や自身が発行したワークシートを掲載し、互いに閲覧できるようにしている。

...かを、モデルを使って自分の考えをもたせ、授業で共有し全体で考えを練り

(予習型)

用途に応じて電池が開発されたことを簡単に知ります。

(活用型)

...ったことについて探究したことを、時間を見つけてスライドにまとめていきま

...を見ながら、疑問に思ったことや質問したい、詳しく聞いてみたいことなどをス

...たうえで、授業に臨む。

共有スペースを用いて他の職員に情報提供

職員間での意見の共有

使用時間、時間帯 タ... コピペの多用による思考力の低下	SNS上のトラブル 調べ学習のときなど、インターネットにある文章のコピーペーストが目立つ	ネットの記事資料を活用して、目的の情報を抽出する方法の学習が必要	情報の使い方の書き（見出しももった生活ができていない）	使用時間や短く、短いサイト、授業内容などを自分で判断できる。	タブレットから情報の書き（見出しももった生活ができていない）
履歴を消している。	ICに使用することのメリットをもっと活用する（カレンダー機能、記録など）	基本的な生活習慣が身につくか。	小学生の時から継続なくインターネットの情報を収集し、自分の文章でまとめることができる。	情報の真偽や信頼性についての適切な判断	インターネット上の情報を収集し、自分の文章でまとめることができる。
とても良く使いこなせている。	ネット情報の正しい判断力（調べ学習でそのままだま切り貼りして複製して）	村の通信環境に問題がある	使用上のルールを守れていない	自ら決めたルールを自ら守る	ネット情報に基づいて、自分の考え（見出しももった生活ができていない）
		タブレットの導入による授業内容の共有が、授業内容の共有に活用されている。	バシければ何をしたいと考える（ネットに限らず）をもつ生徒の多さ	人権意識が身についた状態での投稿や発信	

情報モラルについての付箋を用いた意見交換



校内研修においてもタブレットを活用して、授業同様に意見交換をしたり、共有シートに書き込んだりして、視覚的に学び合える環境を整えている。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容⑤】生徒会活動におけるICTの積極的な活用

Microsoft Teamsを活用した意見の共有

普段使いを生徒会活動の中でも活用

発表場面での活用



生徒集会での発表の様子

データの共有（ペーパーレス化）



タブレット端末を用いて議論している様子



委員会ごとのチャンネルを作成し、データを共有・編集できるようにしている。

1. 学級専門委員会 記録用紙 (3)年 生活保体委員会

先月の反省および状況	しっかり朝の会などに給食時などを呼びかけることができました。	
	目標	目標設定の理由
	・給食に感謝の気持ちをもとに	・一年間お世話になった給食に感謝するため
	具体的な取組	
1~2月	When(いつ) 休み時間などを(昼休み)などを使って	
	Who(誰が) それぞれのクラス全員で	
	Where(どこで) 教室で	
	What(何を) 感謝ビデオメッセージを撮って給食センターの方に送る	

Teams内のデータは同時編集ができるため、作業の効率化を図ることができ、生徒の負担軽減につながっている。

